

「世界三大美書」と呼ばれる書物があります。産業革命によって機械が大手をふるようになった時代のことです。時代の風潮に反して伝統的手仕事を尊重しようという、アート・アンド・クラフツ運動が起こり、個人レベルの印刷所で美しい書物が作成されるようになりました。そのような書物の中でも、ケルムズコット・プレスの『チョーサー著作集』、ダヴズ・プレスの『欽定英訳聖書』、アシエンディーン・プレスの『ダンテ著作集』が「世界三大美書」と呼ばれています。

ケルムズコット・プレスはウィリアム・モリス (William Morris, 1834-1896) によって、ロンドン西部のハマースミス (Hammersmith) にあってテムズ川を見下ろす地にある邸宅で 1891 年に開始されました。ケルムズコットという名称は、西オクスフォードシャーのケルムズコット村にある荘園邸宅 (Kelmescott House) に因みます。そこはモリスの別荘で、1871 年から彼の死の年 1896 年まで住んでいました。ケルムズコット・プレスにはモリスが愛した田舎の別宅の名称が使われているのです。

『チョーサー著作集』が出版されたのはモリスの没年である 1896 年のことでした。モリスの運動は、ラファエル前派の先駆的存在だったガブリエル・ダンテ・ロセッティとの深交により感化されたものでした。モリスはオクスフォード



『チョーサー著作集』豪華ファクシミリ

大学で神学を勉強していたのですが、卒業できませんでした。そして、画家を目指したのですが、絵は上手でなかったため、その道に進むのをあきらめて、デザイナーに徹することにしました。

『チョーサー著作集』の 87 枚の木版画のイラストレーションはモリスの生涯の親友エドワード・バーン・ジョーンズ (Edward Burne-Jones, 1833-1893) が担当し、版画を彫ったのはウィリアム・ハーコート・フーパー (William Harcourt Hooper) でした。この著作集にはチョーサーの作品大小合わせて 29 が収められています。

愛知大学所蔵のものは、1974 年に、ロンドンのバジリスク・プレスから 500 部限定で刊行された豪華ファクシミリの 270 番です。

以前の所有者がピーター・ロバート・ドーソンという人だったことも分かります。青色の木箱に収納されています。幅は 2 巻で 10.3 cm、横 29.2 cm、縦 43.5 cm ということで、大型本です。本体の表紙は布張り、一面にモリス風の植物デザインが施されています。



●ケルムズコット・プレス『チョーサー著作集』豪華ファクシミリ

The works of Geoffrey Chaucer now newly imprinted 名図書務 931:C36:1
A companion volume to the Kelmscott Chaucer 名図書務 931:C36:2

14 世紀英文学の主要な作家と言えば、先ず名前が挙がるのは『カンタベリー物語』で有名なジェフリー・チョーサー (Geoffrey Chaucer: 1340?-1400) です。この作品は 1387 年から 1400 年にかけて書かれたのですが、著者直筆の原稿も著者存命中の写本も散逸しています。この作品の人気度は高く、83 の写本が (うち 28 は断片) 存在したとのことです。それらの写本の中でチョーサーの原稿に最も近いものとして挙げられるのが、ヘングウルト写本 (Hengwrt Manuscript, MS Peniarth 392D) と、エルズミア写本 (MS Ellesmere 26C9) です。両方とも、15 世紀初頭に、同じ写字者によって書かれたとも言われていますが、別な写字者によるという説もあります。チョーサー自身の指示を受けていたかもしれません。そのようなことからチョーサー自身の原稿に最も近いということになるのだと思います。

エルズミア写本については、一方、1410 ~ 1420 年頃に書かれたとする説もあります。写本の名称は、英国北西部の港町エルズミアポートの男爵であったトマス・エガートン卿 (1540-1617) が所有していたことに由来します。その後 1846 年にエルズミア伯爵となったフランシス・エガートンの所有となりますが、4 代目エルズミア伯爵のジョン・フランシス・グランヴィル・エガートン (1872-1944) はエルズミア写本を含む蔵書をアメリカの鉄道王ヘンリー・エドワード・ハンティントン (Henry Edward Huntington, 1850-1927) に

『チョーサー作『カンタベリー物語』エルズミア写本豪華レプリカ



【本体、収納箱】

売却しました。1917 年のことでした。ハンティントンはカリフォルニアのサンマリノに 207 エーカーの広大な敷地を用意し 1920 年に図書館を完成させました。以後、エルズミア写本はその図書館で大切に保管されています。

そして 1995 年、この世界に誇る至宝が、15 世紀初頭の製本技術にしたがってレプリカとして制作されて多くの人の目をその極彩色の一ページページで楽しませてくれることになったのです。ハンティントン・ライブラリと雄松堂書店 (当時) の共同出版によるものです。250 部限定で、3 種類に分かれます。極上のは 1-50、次いで上等のものは 51-150、残りは 151-250 のいずれかの番号が刻印されています。

愛知大学所蔵のものは 27 番で、極上品ということ。サイズは 399 mm × 284 mm で、15 世紀初頭の製本技術で綴じられ、カヴァーはオーク板を子牛の鞣し皮で覆ったもので、さらに収納箱は総皮張りです。

[チョーサーの肖像] here bigynneth Chaucers tale of Melibee (= here begins Chaucer's tale of Malibee: "ここにチョーサーのメリベウスの話始まる")

●チョーサー作『カンタベリー物語』エルズミア写本豪華レプリカ
The Canterbury Tales: the new Ellesmere Chaucer facsimile (of Huntington Library MS EL 26 C 9) 名図書務 931:C36

This is copy number 27

